

より良い地域づくり、官民連携を目指して 日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会総会を開催



「日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会」は、2月13日（土曜日）、大分県マリンカルチャーセンターにおいて平成21年度総会を開催しました。

総会では、県境を越えて総勢約50名が参加し、地域の情報発信の仕方や地域活動で困っていること、行政の役割などについて意見交換しました。大変有意義な会でした。

地元小学校と連携して花植え活動を行いました！



「きたうら風景海道推進協議会」は、3月3日（水曜日）、北浦小学校と北浦幼稚園のみなさんと一緒に、春先の観光シーズン前に国道388号沿いを花で飾る美化活動を実施しました。

同会の村田会長は、「このような活動をこれからも広げていき、高速道路の開通に向けて魅力ある地域づくりを進めていきたい」と話されていました。

活動のお知らせ

宮野浦八十八カ所の大師祭が5月4日に行われます。



宮野浦八十八カ所の「一番大師」



北浦町の「宮野浦八十八カ所」は、江戸時代の後期、疫病や災害をおさめるために造られたものです。

八十八カ所を巡ると約12kmありますが、景色は最高だそうです。

参拝者は、地域の方々からお茶やお菓子など「おせったい(もてなし)」を受けます。

皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

(大分県側)

(宮崎県側)

国土交通省 佐伯河川国道事務所 調査第二課

国土交通省 延岡河川国道事務所 調査第二課

〒876-0813 大分県佐伯市長島町 4-14-14

〒882-0803 宮崎県延岡市大貫町 1-2889

tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/>

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>



発行元: 日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

みなさん、シーニック・バイウェイという言葉を知っていますか？ シーニック・バイウェイとは、アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)という意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる約120のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。

今月のシーニック・バイウェイ



「海の道」

4月からモジャコ漁がはじまります。写真は、モジャコ船の「船祝い」の様子です。

モジャコは、みなさんご存じのブリの稚魚です。ブリは、出世魚でモジャコ(3~7cm)→ツバス→ハマチ→ブリ(60cm以上)となります。

地域資源（宝）の紹介コーナー

このコーナーでは、日豊海岸シーニック・バイウェイエリアの旬の地域資源（宝）等を紹介します



自然・景観資源

（大分県佐伯市蒲江大字西野浦）



◆仙崎つつじ公園

西野浦の標高412mの仙崎山の頂上から深島や入津湾を一望することができます。春には5万本のツツジに彩られ、4月10日は「仙崎公園つつじ祭」が開催されます。（山頂まで道路幅員が狭いので、通行には注意してください。）
※雨天の場合は、11日に順延。

問い合わせ先：蒲江振興局
0972-42-1111



歴史・文化資源

（大分県佐伯市蒲江大字竹野浦河内）

◆蒲江海の資料館

蒲江で古くから使われてきた蒲江の漁労用具や船舶（「網船」「チャンコ船」と呼ばれる漁船など）多くの資材が展示されています。国指定重要有形民俗文化財です。

入場料：大人200円、小人100円
休館日：月曜日、火曜日



自然や歴史、食、人など旬な地域資源がありましたら、情報の提供をお願いします。



食



◆蒲江エリア
 蒲江エリアでは、緋扇（ヒオウギ）貝やヒロメ、ツワなどの食材が旬です。



◆北浦エリア（宮崎県延岡市北浦町地下）
 北浦町地下地区には11haの茶畑が山の急斜面に広がり、早生品種の「さえみどり」「さきみどり」などが栽培されています。4月には1番茶の摘み取り作業が始まり、新茶が販売されます。また、このお茶を飼料に添加して飼育された「Oh茶メ豚（おちゃめとん）」も人気です。



案内図

